

笑顔 幸せ

みんなでつくる

あったかす

たかす議会だより

子雀堂

(町花「マリーゴールド」の和名)

題字 松平さくら

2023年2月6日 発行

No. **189**

令和4年12月定例会号

鷹栖町はたちのつどい





- 4 子ども医療費助成
18歳まで対象に
令和4年第4回定例会
- 6 8名が一般質問
齊藤・青野・桑原・大石・姥
片山・川原・日下
- 15 原油価格・物価高騰対策
続々
令和4年第4回・第5回臨時会
- 16 広報広聴から議会活性化を
鷹栖町議会今期4年間の取り組み
- 18 議会のうごき
- 19 VOICE ほか



過去の議会報「孔雀草」
で関連のある記事を表し
ています。

**くしゃくそら
クイズ** 町内で使用できる
商品券1000円分が
抽選で3名に当たる

○に当てはまる言葉を入れてください。
答えはこの議会報「孔雀草」の中にあ
ります！

- 問① 令和5年度から子ども医療費の助
成の対象が〇〇歳までになります。
- 問② 鷹栖町議会ではよりよい一般質問
のために〇〇〇を開催しています。
- 問③ 令和5年3月定例会は〇〇議会と
して開催予定です。

応募方法などは19ページ
に記載しています

ウェブでも回答できます ▶



総務文教常任委員会調査研究レポート

「ごみ問題は自分ごと」目指せ減量化

令和5年度末までに ごみを削減しよう

鷹栖町では、令和5年度末まで
にごみ排出量を1人1日7000グ
ラム、燃やせるごみの量を1人1
日285グラムにするという具体
的な削減目標を掲げています。

総務文教常任委員会では令和4
年度、ごみの減量化をテーマとし
て調査研究してきました。これが
一段落したため、1年間の活動を
ご報告します。



プラごみや空き缶・ペットボトルの仕分けを体験

まずは分別作業を 実際に体験しました

議会では令和3年3月に片山議
員がごみ減量化に対する姿勢を、
12月に川原議員がゼロウェイスト
宣言をする考えを質問しました。

これらの答弁のその後を確認し
た後、委員一人ひとりが「ごみ問
題は自分ごと」として取り組むた
め、まずは、作業環境や分別状況
の課題の把握のため7月に分別作
業の体験を行いました。



齊藤委員長

多くのごみがすっかり分別され
ている一方、食べ残しがそのまま
プラごみに入っていたり、洗浄が
不十分だったりするごみもありま
した。これらは匂いもひどく手間
もかかり、分別の大切さを再確認
しました。

適切な分別がされていない事業
系廃棄物が多くあることに対する
緊急な対応、木廃材の始末、作業
環境の改善、リサイクルごみにつ
いての町民への啓発等具体的な課
題をまとめ、それをもとに町民課
と協議を行いました。



写真右が北野地区 左が鷹栖地区での様子
グループワーク形式で多くのご意見をいただきました



「語り合う会」を開催

町民の方のご意見を直接聞くためごみ問題に関する「地域を語る会」を10月に鷹栖地区と北野地区の2カ所で開催。14名に参加していただきました。

焼却に約3000万円かかる燃やせるごみの約半分が誤った分別であることへの驚きの声や、ごみ減量化通信など行政の取り組みを評価する声が聞こえてきました。

町民課職員に分別の仕方を教わるなど、具体的な行動につながる学びの場にもなりました。

町内会でも適正分別を促したいという気持ちは皆さんがお持ちでしたが、地域力の低下という根本的な課題も表出していました。

高齢化に伴い、分別が難しい方が増えたり、ごみステーションにごみを出せないなどの課題も想定されるなど問題提起がされる場面もありました。

調査研究を終えて

実際に分別作業を行い、そこで働く人、環境、出されるごみの状況などを見ることで、さまざまな課題を肌で感じてきました。

町民との懇談では町からの情報がまだ充分には行き届いていないことも感じました。人口が減っているのにごみが増え続け、恐ろしいほどの経費がかかっている現状をまずは町民の皆さんと共有したいと強く感じました。

町民課とも課題を共有し、協議も行いました。ごみ削減目標を達成すべく、今後も委員会としてできることを考えていきます。



林川委員

生活する上でごみは必ず発生し、各自治体のごみ分別はその後の1次・2次・3次処理等の違いによって変わります。分別のしやすさ、環境対策＝費用負担が課題と思っています。



青野委員

捨れば「ごみ」、分ければ「資源」。ごみ問題の解決はSDGsの達成のためにも不可欠であり、私たち1人1人の取り組みが大切です。自分達で出来ることを始めてみませんか！



片山委員

ごみ問題を調査し課題を共有、懇談会に向け何をどう伝えるか話し合うなど委員会としての活動が充実してきたと感じています。普段のごみ分別を考え直すきっかけにもなりました。



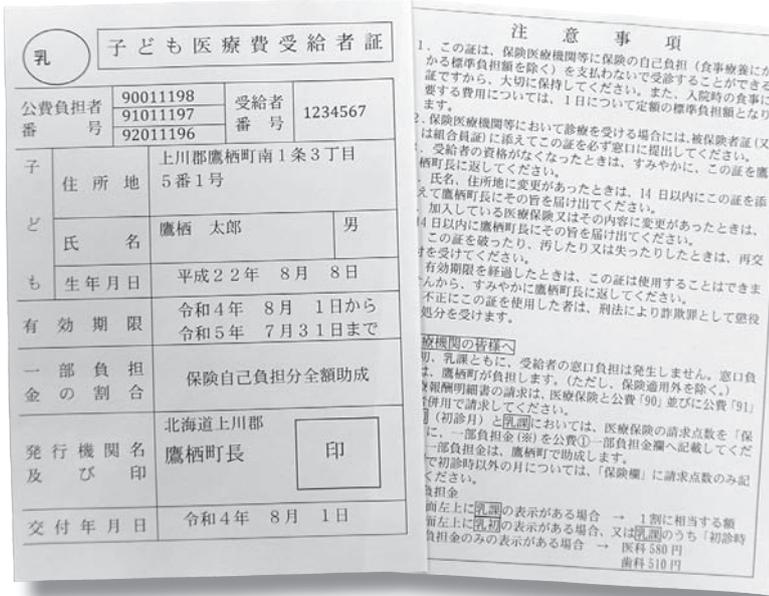
川原委員

紙ごみを燃やせるごみに捨てていた自分の行いも反省する1年でした。町の分別は細かいかもしれませんが、ごみを分けると資源になることがわかると前向きに取り組めました。

令和4年第4回定例会

子ども医療費助成 18歳まで対象に

条例 助成開始は令和5年度から
子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例



受給者証は3月下旬に送付予定
所得制限はありません

子ども医療費助成の対象者を満18歳までに拡大します。令和5年1月から案内を開始し、4月から助成できるよう、3月下旬に受給者証が対象者に送付される予定です。

対象者は約250人増えます。年間約300万円の助成費用の増額を見込んでいます。

受給者証を窓口で提示することで、無料で受診できます。

所得制限はありません。今回の補正予算では、対象者への案内や受給者証などの郵送料として6万円、システム改修費として84万円が増額されました。

188号 14頁
175号 9頁

医療費無償化の拡大については大石議員、片山議員が質問をされました

聞いてみました!

子ども医療費の対象拡大について現在中学3年生の方にコメントしてもらいました



ありがたいです

高校生になるとアルバイトはできるようになりますが、まだ生計を立てることができないわけではありません。医療費の助成があることで安心感につながります。

太田 悠海さん (鷹栖地区)

議案一覧は12月発行の速報版に掲載しています



定例会のあらまし

令和4年第4回定例会を12月12日(月)13日(火)に開催しました。

1日目は8名の議員が一般質問し、新教育長の教育方針・農業問題・移住定住・地域運営のあり方等多岐に渡る質問をしました。(傍聴数19名)

2日目は議案審議8件を原案通り可決しました。諮問案件1件があり、人権擁護委員1名が推薦され、答申しました。

補正 光熱費 値上がり影響 4300万円増額

令和4年度6回目の一般会計補正予算、2回目の公共下水道事業会計補正予算を審議し、全会一致で原案通り可決しました。

一般会計は9116万円の増額で、このうち約4300万円は燃料費・電気料の単価上昇などに伴うものです。

公共施設LED化 リース方式で

令和5〜6年度の2年間で、町の公共施設38施設にLED照明を導入します。入札は企画を提案してもらうプロポーザル方式で行い、リース契約します。1年間で電気料1540万円の削減を見込んでいます。

令和5〜6年度の総事業費 **1億2700万円**



原料トマト奨励金 20万に増額

原料トマト生産農業者の生産意欲の向上を図り、次期作につなげるため奨励金の上限を秀品出荷実績に対し1キロ当たり10円から20万に増額します。

139万円

青野議員 今後の生産意欲を持ってもらうために、しっかりと周知することが必要では。

A 町長 新しい農業者にも生産意欲がわくような対策も非常に大切だと思っています。しっかりと肝に銘じて、これからも推進していきます。



58万8000円

はびねすに液体燃料触媒を導入

サンホールははびねすのボイラーに液体燃料触媒「SLOW」を活用して、燃料効率を上昇させ、燃料費と二酸化炭素排出量の削減を図ります。燃料費が10%程度、二酸化炭素が16・2トン削減される見込みです。

「SLOW」は北海道庁でも試験導入されています

(万円未満四捨五入)

一般会計	補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計	9116万円	61億3815万円	62億2931万円
総務費	869万円	ゴールドコースト友好訪問団派遣事業費の追加ほか	
民生費	1365万円	町内保育園・認定こども園遊具等の購入費（寄附金）の追加ほか	
衛生費	562万円	リサイクルセンター2号棟の破砕機部品修繕費用の追加ほか	
農林費	346万円	オオカミの桃原料トマト付作奨励補助金の追加ほか	
商工費	570万円	鷹栖工業団地土地取得助成金の追加	
土木費	3319万円	そよかぜ団地R1エレベーター改修工事費用（R5実施）の追加ほか	
消防費	13万円	燃料費の追加	
教育費	2072万円	優秀選手賞対象者の増加に伴う表彰用品の追加ほか	
国民健康保険	15万円	令和3年度の交付金の額の確定に伴う償還金の追加	
公共下水道（資本的）	993万円	鷹栖汚水中継ポンプ場工事費用の追加ほか	

諮問 人権擁護委員に齊藤 功さん再任

任期は令和5年4月1日〜令和8年3月31日

人権擁護委員に齊藤功さんを推薦することについて諮問を受け、適任と答申しました。

立支援協議会会長、地域サロンの運営など、地域活動の中心人物として活躍されています。

人権擁護委員は人権相談を受けたり、人権の考えを広めたりする活動をしています。

齊藤さんは教員を定年退職後、現在は、民生委員児童委員協議会副会長や、自



齊藤 功さん
平成23年から人権擁護委員を務めています

よりよい質問目指し 勉強会を開催



よりよい質問を目指し、一般質問の提出前に勉強会を行いました。
質問内容を説明したあと、他の議員から質疑やアドバイスを受けました。



▶ 勉強会の様子

質問議員	質問内容	頁
齊藤 哲子	教育 本町の教育執行方針は	7
青野 敏	農業 新たな米政策に対する対応は	8
桑原 芳文	移住定住 住み続けられるまちの実現を	9
大石 隆	移住定住 人口減少問題と少子高齢化対策は	10
姥 順一	総務 生き生きと能力を発揮できる人事をほか	11
片山 兵衛	生活 パートナーシップ制度導入の考えは	12
	教育 ジェンダーフリー制服の導入は	
川原 允	文化 国の文化財の登録へ向けた取り組みは	13
	まちづくり シビックプライド醸成の契機に	
日下 義朗	まちづくり 地域運営の活動拠点づくりは	14



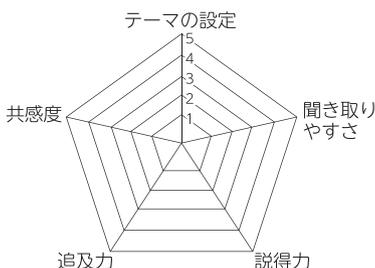
こちらから傍聴者
用資料や動画をご
覧いただけます

聞いてみました!

傍聴者の方に感想を聞きました

議会は別の世界だと思っ
ていましたが、町を良く
しようという思いで質問し
ている姿はとても身近に
感じました。

笠原 美子さん (鷹栖地区)



一般質問の通信簿の結果は平均点を
レーダーチャートで掲載しています

一般質問は、各議員が行財政全般にわたり町当局の
考え方や疑問を質すことで、現行の政策を見直し、新
規政策につなげる重要な活動です。

8名の議員が町政を問う!



【ひとことコーナー】通信簿に書かれた各質問議員への傍聴者の方からの
コメントの一部を、なるべく原文に近い形でページ下部に掲載しています。 たかす議会だより 189号

本町の教育執行方針は

教育長 学力をつける取り組みに力を注ぐ

177号
9頁

齊藤議員は3年前に教育長が
変わったときにも同様の
質問をしています



教育長就任後、さまざまな地域のイベントにも参加
写真は中央地区のポッチャ大会

新 教育長のご就任おめでとうございます。

新教育長として、本町の教育をどのように執行していくかと思われ、①学校教育、②社会教育、③スポーツ・文化の3点に分けてお話しください。

新型コロナウイルスが児童生徒の学びに影響を与える中、学力と共に人間関係を作る力

や、社会性・道徳性等の人間性を培い、知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育てていきます。

②社会教育アクシヨンプラに基づき、ふるさと共育をはじめとする事業を今後もしっかりと進め、町民の皆さんが生涯にわたり豊かに学ぶ環境づくりに取り組んでいきます。

③令和4年度に設立予定の総合型地域スポーツクラブを中心に、生涯にわたりスポーツができる環境の充実を目指します。

また、日常的に芸術文化と触れ合う場や芸術文化活動が活発に展開されるよう支援に努めます。

質問 現時点で、鷹栖町における最も大きな教育の課題は何だと考えますか。
答弁 学力・体力の低下、不登校児童生徒への対応と考えています。

質問 前任の教育長から引き継いで、そのまま進んでしまうことを懸念しています。

鷹下教育長がこれだけ力を注ぎたいと体を張って強く思うことは。

答弁 特に学力向上に力を入れたいと考えます。全国学力学習状況調査での本町の児童生徒の動向を踏まえ、子供たちが社会の変化に向き合い、学ぶ意欲を育てていくことが必要と考えています。

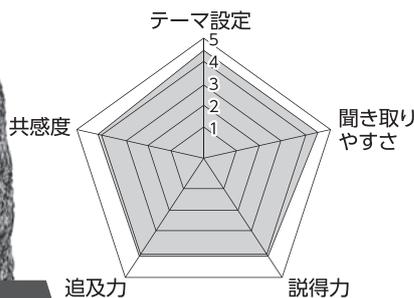
学力をつけるための方策は

質問 学力をつけるために、これだけは絶対に力をつけてやるぞとの強い一点を示すことで、自分が付けないなら力の子供が知り、先生方が知り、町民が知る、それが見える教育

育だと考えます。

教育が見える、鷹栖町でやるうとしていえることが見える、そんな教育を推進してほしい。お考えは。

答弁 今後、学校や外部と相談をしながら、具体的な方策を考えていきたいと思っています。見えやすい、分かりやすい教育を目指し努めていきます。



さいとう てつこ
齊藤 哲子 議員



新たな米政策に対する対応は

町長 水田農業の継続的な支援に取り組む



米麦改良協会から鷹栖町の将来を担う子供たちに新米が贈呈されました

した上で、畑地化を前提とした農地ゾーニングが進めば、農地集積、農地の団地化が目標地図に合致していくものと考えています。

質問 具体的な影響は。

答弁 行政が中心となり

令和4年度中に第4期農業ビジョンを策定予定でしたが、情報などが確定していない中で策定は厳しいと考えています。

策定期間の変更も含め、検討委員会の中で協議してまいります。

質問 中長期的な計画の策定や農地バンクの推進など、今まで以上に行政が中心となって進めていくことが求められます。

産業振興課と農業委員会の連携、専門的な職員体制の強化も必要では。

答弁 農業委員会の事務

量が大きく増加することから、産業振興課と連携した事務体制の強化も必要と感じています。

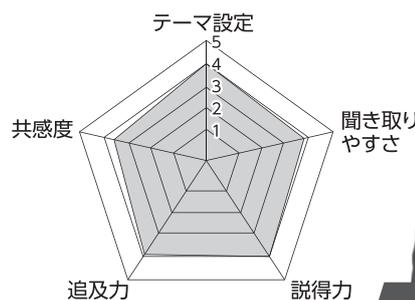
専門担当職員の必要性については、農業委員会、産業振興課の事務などを整理し、今後の農業情勢などを踏まえて検討します。

質問 転作をするか悩んでいる地権者・耕作者に対して、行政でバックアップする考えは。

答弁 行政が総合的に調整をし、関係機関と連携を図りながら検討・協議してまいります。

質問 大きな転換期である今、農業者が夢を持てるようなビジョンを発信することが必要だと考えます。

答弁 鷹栖町の基幹産業は農業であり、130年積み上げた、水稲の歴史は非常に重いものです。しっかりとした考え方を持った農業者が育つように関係機関、民間と協議をしながら、新しい農業を創ってまいります。



あおの さとし 議員 青野 敏

農業に対する、谷町長の意気込みと腹づもりをお聞かせください。

答弁 鷹栖町の基幹産業は農業であり、130年積み上げた、水稲の歴史は非常に重いものです。しっかりとした考え方を持った農業者が育つように関係機関、民間と協議をしながら、新しい農業を創ってまいります。

質問 農業に対する、谷町長の意気込みと腹づもりをお聞かせください。

答弁 鷹栖町の基幹産業は農業であり、130年積み上げた、水稲の歴史は非常に重いものです。しっかりとした考え方を持った農業者が育つように関係機関、民間と協議をしながら、新しい農業を創ってまいります。

令 和3年12月、水田活用直接交付金の厳格化、産地づくり交付金の見直し公表されました。

今回の改正内容は農業者個人だけでなく、本町の中長期的な「農業ビジョン」全体に影響を与えるものであり、本町農業の行政方針が問われる極めて重要な問題です。行政の対応は。

答弁 第3期農業ビジョ

の最重要事項である「人・農地プラン」を実践する上で、水田農業の継続的な支援や、畑作物の導入などに確実に取り組む必要があります。

今後5年間に一度も水を張らない水田の畑地化を耕作者、所有者と共通認識を持った上で計画的、効果的に進めることが必要です。保全すべき農地を明確に



住み続けられるまちの実現を

町長 鷹栖町を好きな人を増やし続けたい

	R2年度	R3年度	R4年度 (11月末時点)
移住に関する問合せ	32件	20件	21件
移住体験ツアー申込	4件6名	6件12名	5件6名



住宅建築支援事業補助金 令和4年度は11月末時点で30件の利用があり、年々増加傾向です

全 国的に都市部から地方への移住意識が高まり、U・I・ターンに関心を持つ人が増加傾向にあります。移住者と在住者が住み続けられるまちを実現するための課題と今後の取り組みは。

答弁 移住者も在住者も鷹栖町に魅力を感じ、いつまでも住み続けたいと感じられることが重要と考えています。ふるさと共育やまちLaboの開催、関係人

口の取り組みなどは鷹栖町に愛着を持ち、地域との結びつきを強めていくものと考えています。

今後、鷹栖町を好きになる、住んでみたい、戻ってきたいと思える人を増やし続ける取り組みを進めていきます。

質問 住宅建築支援事業で、令和2年度から導入した鷹栖小学校区の住宅建築に対する地域加算の実績と効果は。

答弁 導入前に比べ大幅に増えています。北野地区よりも高齢化率が高く人口減少が続いているため、引き続き、地域加算の支援が必要と考えています。

質問 住宅建築や空き家改修に対する支援事業の期限は令和4年度までです。今後の継続の考えは。

答弁 平成26年度の事業創設後、社会増減がプラスに転じる年度もあり、効果が大きいと考えます。令和5年度以降も継続する方向で検討します。

空き家対策 今後の課題は

質問 近年の町内の空き家バンクの成約率は83%と高く、一定の成果が得られています。一定の成果が得られませんが、空き家バンクに登録されていない物件も少なくありません。

今後増加が予想される空き家への対策は。

答弁 空き家が長期間放置され解体を余儀なくされる前に、有効な財産として次の世代に引き継げるような取り組みが必要です。講習会などで空き家にならない意識の醸成に努めるほか、近隣の方から情報などで空き家を把握し、職員が活用方針を丁寧に聞き取る取り組みを進めます。

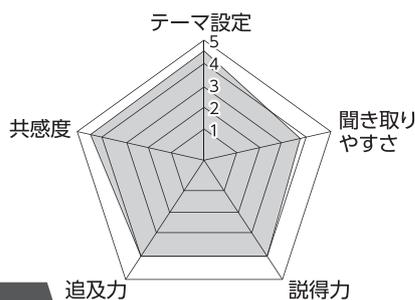
有効な資産として今後も活用を進めていきます。

質問 空き家調査員の活動状況は。

答弁 所有者への聞き取りや物件の調査を担当しています。

質問 空き家の解体に補助を行う考えは。

答弁 有効な資産として流動させることを基本にしています。解体への補助は考えていません。



くわはら よしふみ
桑原 芳文 議員



人口減少問題と少子高齢化対策は

町長 将来を見据え、住みよい鷹栖町を目指す



高齢者向けなど、さまざまな公営住宅があります
建設水道課にお問い合わせください

鷹 鷹栖町は2010年に人口7553人に達しましたが、それ以降は減少が続いています。
人口減少は2020年度の推計よりもやや速く進行しており、高齢者人口比率はピークの2050年には44・2%になると見込まれています。

近年は転入転出の差である社会増減は均衡して人口の自然減を解消するこ

とは極めて難しいと考えています。産み育てやすい環境を整備することは重要と考えています。
今後地域全体で子供に寄り添い、子育て世代を支え、希望が満たされるまちづくりを目指します。

質問 他県だけでなく近郊の若い方にも、さらなるアプローチが必要では。

答弁 住宅建築の支援事業により、移住者も年々増加傾向にあります。
この数字に満足することなく、魅力ある子育てをしていることが伝わるよう努力していきます。

質問 平屋住宅は子供の声や走り回る音を気にする必要がなく、若年層や子育て世代に人気があると言います。平屋の町営住宅についての考えは。

答弁 まとまった敷地が少ないため、効率的な利用も求められますが、時代のニーズに合わせたものとなるよう検討を進めます。

質問 若者の移住問題の最大のネックは職です。農業に関心のある方も多く、1年を通しての働き方が課題でした。
夏は北海道で、冬場は暖かい本州、九州で農業を行う方に対してバックアップする考えは。

質問 若者の移住問題の最大のネックは職です。

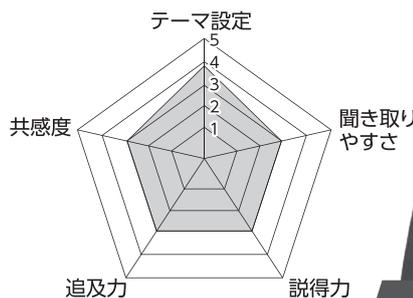
答弁 農地を守る人が地域を守ることが大切です。2力所居住での営農を推進する考えはありません。

質問 高齢者人口は今後も増加を続けると予想され

答弁 高齢者人口の増加に伴い、要介護者も増加します。
介護予防事業や在宅福祉の充実を図ります。また、介護施設への入所が必要な希望者の状況を踏まえ、将来の施設の在り方についても考えます。



おおいし たかし 議員
大石 隆



生き生きと能力を発揮できる人事を

町長 適材適所の配置をしている



職員の配置は年度はじめの広報でお知らせされています

職 場でのモチベーション維持や能力の向上等に関し重要な機会となる人事異動について、任命権者である町長の考え方は。

答弁 さまざまな部署で経験を積みませ、職員の適性や能力を見極めて、職場の活性化を図ることを基本的な考え方としています。能力を発揮できる部署へ配置する適材適所の判断をしています。

職員の意向などは課長へのヒアリングや職場面談、

日頃の情報交換などで把握に努めています。

質問 前副町長の退任に伴う突発的な人事異動について、4月に異動したばかりの税務課長の異動、町民課長の税務課長兼任発令と本人はもとより当該課の職員にとっても動揺するようない人事だったと思います。4月の定期異動時まで必要最小限の異動に留めるべきでは。

答弁 今回の人事異動については業務の確認をした上で発令しました。人事権は私が持っていますので、総体的に住民サービスの下下にならないように配慮した人事異動です。

措置処分 減率対象にする考えは

質問 勤勉手当の成績率については、手当の趣旨に沿った規程の整備を令和2年9月定例会で質問し、11月に運用規程を整備していただきました。

同規程では懲戒処分のみが成績率の減率対象です。懲戒処分に至らない訓告や厳重注意などの措置処分も対象とする考えは。

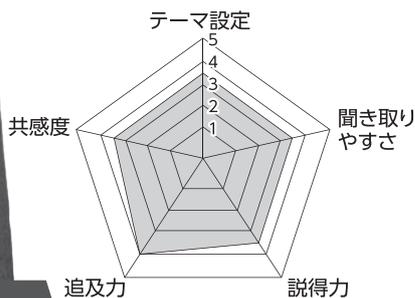
答弁 同規定で勤勉手当に反映する懲戒処分は、地方公務員法に規定する処分としていきます。職員の義務違反等を懲戒処分とすべきかは裁量権の範囲を逸脱しない限り、任命権者の裁量により決定すべきとされています。現状の取り扱いを変更する考えはありません。

損害賠償責任の検証は

質問 7月発生のシヨベルロードの横転事故に対しては安全衛生管理面からの

検証のみでした。物品使用職員の損害賠償責任の検証はされましたか。

答弁 保険金などで補填がある場合、損害を命ずることにはしていません。弁償規定は現在ありませんが、事案が発生した場合には類似なども参考にしながら厳格に対処していきます。



うば じゅんいち 姥 順一 議員



パートナーシップ制度の導入を

町長 早い段階で導入できるように努力する



LGBTはレズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字をとったセクシュアルマイノリティの総称のひとつ

鷹栖町でも「LGBTQって何？」のタイトルで地域共生社会フォーラムが開催されています

Q LGBTに対する差別解消はSDGs、持続可能な世界を目指す第一歩としても強く求められています。この件に関する町長のお考えは。

答弁 誰一人として取り残されず、幸せに暮らせる世界を実現するために、住民の皆さんと、知恵を出し合いながら推進していきたいと考えています。

令和4年10月にセクシャルマイノリティについての研修会も開催しました。

質問 同性のカップルを自治体として認めるパートナーシップ制度について、道内でも札幌市など5つの市で導入済みです。鷹栖町はあらゆる立場の町民が幸せを実感できる地域社会の実現を目指してい

ます。他町村に先駆けて導入する考えは。

答弁 国、道、旭川市の動向を注視しながら、導入に向けての検討を進めていきたいと考えています。

質問 旭川市の動向をうかがうのではなく、周辺の町村から機運を高めていこう、鷹栖町がその先陣を切ろうという考えは。

答弁 しっかりとしたものを制定するため、もう少し時間をいただきたいと考えています。

質問 すでに200以上の先例があり、それらを参考にすることが可能です。時期を決めて、導入を目指すことはできませんか。

答弁 導入の時期というのは決めていません。早い段階で導入できるように、努力をしていきます。

ジェンダーフリー 制服の導入は

質問 ジェンダー教育についての考えは。

答弁 教育長 一人ひとりが認識する性別を尊重し多様な考え方に配慮しながら、ジェンダー教育の取り組みを進めていきたいと考えています。

質問 ジェンダーフリー制服を導入する考えは。

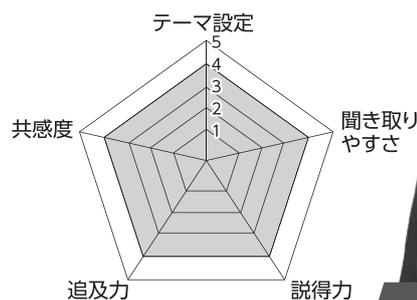
答弁 今後、制服を更新していく際にはジェンダーフリーにも配慮していくことも必要であると認識しています。具体的な時期については学校とも相談していきたいと考えています。

質問 現状で、そのような相談があった場合、どのような対応になりますか。

答弁 個別対応になると考えています。

質問 個別対応だと相談しづらいのでは。あらかじめ、どのように対応するか周知しては。

答弁 今後の検討課題とさせていただきます。



かたやま ひょうえ **片山 兵衛** 議員

国の文化財の登録へ向けた取り組みは

教育長 郷土資料を活かしたまちづくりの契機にします

郷土資料館の開館は 水曜と土曜の10時から

4月～9月は17時まで
10月～3月は16時まで



装飾所を復元した展示

郷土資料館にある「馬具」を含めた開拓の歴史を国の登録有形民俗文化財として登録を目指していく動きがあります。登録に向けた教育長の意気込みは。

答弁 装飾所や馬具一式に加え、上川管内開拓と歴史のストーリーを軸に令和5年度の登録有形民俗文化財への登録を目指します。

教育委員会としても、町の歴史・郷土を次世代に継承していくことはふるさと共育の推進に重要な要素であり、登録に向けた動きをきっかけに機運を高められると考えています。

質問 登録に向け、具体的にどのように取り組みますか。

答弁 令和5年1月に文化財をテーマにした社会教育フォーラムを計画しています。

フォーラムでは、町の文化財の紹介や将来的な資源化に向けた手法を学び、町民の文化財に対する興味・関心を高めていきます。

登録については2023年10月ごろの申請を目指しています。

質問 登録を目指す体制をどのように整備していきますか。

答弁 文化財審議会を中心に考えていきます。

フォーラム後に町民が参加できる仕組みを作り、登録の有無にかかわらず、中長期的に取り組みながら文化財に対する機運を高めていきたいと考えています。

シビックプライド 醸成の契機に

質問 シビックプライドは「町に対する町民の誇り」という概念です。郷土愛だけではなく、自分自身関わって地域を良くしたいという当事者意識に基づく自負心を指します。

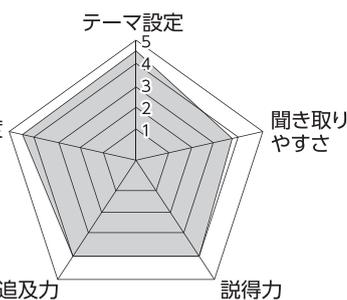
シビックプライドの醸成のためには、その土地ならではの個性をいかに発見するかが重要です。

基幹産業である農業とも密接に繋がりのある文化財の資源化をシビックプライドの醸成の契機と捉え、町全体でその資源を活用する考えは。

答弁 町長 今後のまちづくりにおいて大変重要なことだと考えています。

馬具などの文化財については、ほとんどの町民が知らないという事実もあると思います。

町の文化と産業をうまくひも付けながら、学習していくことが大事です。将来的な資源化に向けた取り組みとなるよう教育委員会と連携して進めます。



かわはら まこと **川原 允 議員**

「詩的なことばが印象的でした」「町の文化財のハジマリだと感じました」「これからの町民に対して大変よい質問でした」

地域運営の活動拠点づくりは

町長 拡充に向け、さらなる検討をしている



地域運営モデル事業では防災についての研修なども行われました

区計画の策定や組織の在り方について検討を進めています。

各地区により組織の在り方や課題が異なるため、それぞれの地域が主体的に話し合い、より良い地域運営の体制を作り上げていただきたいと考えています。

質問 地域運営モデル地区での進展状況と課題は。

答弁 北斗・北成地区は地区計画がスタートし、中央地区は地区計画策定を目指しています。

地区の取り組みを中心となつてマネジメントする人材が不足しているため、集落支援員の配置を検討しています。

モデル地区ではない鷹栖地区・北野地区も含め、すべての地区で組織の見直しに向けた協議を進めています。

教育委員会の役割の変更は

質問 公民館を核に社会教育を展開してきた教育委員会の役割変更について、教育長の考えを伺います。

答弁 教育長 従来の公民館活動は社会教育事業として各地区で継続しつつ、公民館活動の縛りによらない地域づくりを進めたいという地域の意向により、取り組みを進めています。

各地区では継続して社会教育事業を進めていただき、所管は総務企画課へ移行しますが、教育委員会として、全地区を包括的にサポートしていく役割は変わらず進めていきます。



日下議員は
通信簿を辞退
しています



くさか よしろう
日下 義朗 議員

質問 名称変更による施設の維持管理や運営について、変更点や予想される課題は。

答弁 名称は「住民センター」に一本化されます。施設の維持管理は指定管理者制度を継続します。

組織が一本化されることで最初はとまどいもあると思いますが、地域活動の拠点を一体的に管理できるようになるメリットの方が大きいと判断しました。各地区の地域性を活かした地域づくりが推進されることを期待しています。

北 野地区公民館からのお知らせで「令和5年4月1日から公民館とは呼ばなくなりです」との案内がありました。名称変更は、第8次総合振興計画に基づいて町が目指すより住みよい地域づくりの効率化と地域運営の活動拠点づくりのためとされています。

どのような非効率な状況があり、どのように効率

化する考えですか。

答弁 住民ワークショップなどを通し、地域の担い手が不足し役員の負担が大ききなどの地域づくりを担う組織の効率化、それぞれの地域に合った課題解決のための仕組みづくりが求められていることが分かりました。

令和2年度から地域運営モデル事業に取り組み、地

新副町長・新教育長の選任に
全会一致で同意

同意

勇退される八尾谷仁副町長の後任に上西義幸氏、新たな教育長に鷺下正彦氏を選任する人事案件に全会一致で同意しました。

教育長
鷺下 正彦
わした まさひこ

前職：健康福祉課長
趣味：DIY
1969年10月9日生
53歳



先輩の教えである

- ・初心に立ち返り
- ・謙虚に慢心することなく
- ・チーム鷹栖が一丸となって
- ・笑顔と元気

を忘れずに頑張ります。

よろしく願いいたします！

副町長
上西 義幸
じょうにし よしゆき

前職：鷹栖町教育長
趣味：読書 ジョギング
1970年3月15日生
52歳



もとより微力でございますが、町長を支え議会議員の皆様と力を合わせながら、町民の皆様「住んで良かった」と思っただけのまちづくりの実現のため誠心誠意努力してまいります。

どうぞよろしく願いいたします。

原油価格・物価高騰対策 続々

コロナで外出困難の方
「買い物おたすけ事業」
上限3000円
が助成されます

11月29日時点で
123世帯429名が
利用しています

第5回
臨時会
11/30

自宅療養時などの買い物支援
利用者増で事業費増額

新型コロナウイルスに感染または濃厚接触者となった方が、社会福祉協議会が実施している「買い物おたすけ事業」を利用する際の費用を1人当たり3000円を上限に補助しています。令和4年6月から開始したこの事業の利用者が増えているためこの事業費を増額しました。

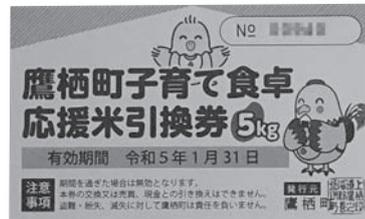
192万円

1度だけでなく、感染のたびにご利用いただけます。午前中の申し込みで、その日の配達が可能になります。(社協 深川さん)



お問い合わせ
TEL：87-4451
鷹栖町社会福祉協議会

引換券は町内のお米を食べ比べるきっかけにもなると好評です



住民税非課税世帯緊急支援給付金給付事業	4552万円
子育て食卓応援事業	2143万円
生産費高騰対応緊急農家支援事業	3200万円
事業者等原油価格・物価高騰対策支援金給付事業	2800万円

第4回・第5回臨時会では原油価格・物価高騰への対応のための事業費の補正予算が提案され全会一致で可決しました。

第4回臨時会では、住民税非課税世帯1世帯当たり5万円の給付や、子育て世帯に対し児童1人当たり鷹栖産米10キロと1万5千円の給付、肥料や資材の価格高騰対策としての農業者支援が提案されました。

第5回臨時会では水道光熱費と燃料費の価格高騰対策としての事業者支援が提案されました。



広報広聴から議会活性化を

鷹栖町議会 今期4年間の取り組み

鷹栖町議会では開かれた議会を目指し、「関心を持ってもらう」「理解を深めてもらう」「参加してもらう」という3つの視点で広報広聴活動に取り組んできました。今期4年間の活動を振り返ります。

12月15日 日曜議会開催
初選7名が一般質問をめぐり3階議場が熱くなる!? この機会にぜひ傍聴を！

上西新教育長の所信は!? 元教育者2名が迫る
「保育園」を空野が賞す
「安全な農業」の下に
「総合戦略」
「10月16日」も見逃さない議題
「注目」会計年度任用職員に関する条例改正
「第8次総合振興計画」基本構想議決など

鷹栖町議会 12月定例会
お問い合せ 鷹栖町議会事務局 電話：87-2111

12月定例会案内チラシ 中吊り広告風チラシとして新聞などで紹介されました

鷹栖町議会 令和1年第3回定例会
どう使われた? 59億円

9月18日(水)・19日(木)
午前9時30分～
場所：役場3階 議場

入退場自由 資料あり ほっとひと息

9月定例会案内チラシ

議会傍聴ガイドブック ぼうちょう

2020年12月発行 発行：北海道鷹栖町議会 編集：広報広聴推進委員会

傍聴ガイドブック

改選を機に議長以外の全員が広報広聴常任委員となりました。

すでに議会報は議員が主体となっており、9月定例会ではそれまで事務局が作っていた案内チラシを初めて議員が制作しました。

これ以降、それぞれの議会で関心を持ってもらいたいことに合わせてチラシの内容を変えながら制作を継続していきます。

傍聴者の方に議会をより理解してもらうためのガイドブックも発行しました。

2019 議員自身による情報発信

議員の教育執行方針 本町の教育執行方針は...
本町の教育執行方針は、子供たちの将来を思い、地域に誇りを持って教育に取り組んでいくこと、一人一人が個性を伸ばし、夢を叶えること、そして、地域社会に貢献することです。

第15回 マニフェスト大賞 コミュニケーション戦略賞 優秀賞

案内チラシと通信簿の取り組みが評価されました

取り組みが評価されマニフェスト大賞受賞

通信簿のついた傍聴者用資料 (画像は現在のもの)

「通信簿」に議員戦慄!? 議員の質問を5段階で評価

鷹栖町議会 9月定例会案内 9/16(水) 9/17(木) 9/18(金)

9月定例会案内チラシ

新型コロナウイルスの影響で案内チラシの発行は控えなければなりませんでしたが、新たに議員の一般質問を傍聴者が評価する通信簿の取り組みをはじめました。

2020 議員戦慄!? 通信簿導入



3月定例会案内チラシ

よい質疑をシールで評価する
試みもはじめました



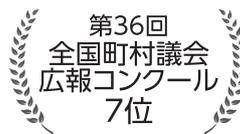
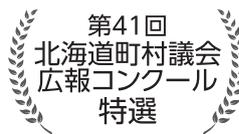
6月定例会案内チラシ



12月定例会案内チラシ

「中吊り広告風」の案内チラシは話題にしていたいただきましたが、毎回同じだと興味をもってもらうことができなくなると考え、バリエーションを増やしながらいちらし発行を継続しました。

議会報コンクールで初めて受賞し、地道な努力が認められました。インターネットニュースをはじめとするメディアなどからの取材もありました。



2021 脱マンネリ バリエーション増やす

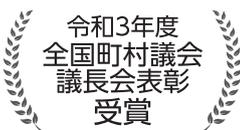


3月定例会案内チラシ



6月定例会案内チラシ

9月定例会案内チラシ▶



令和3年度
全国町村議会
議長会表彰
受賞

SNS・動画を使った発信 チラシは新たな局面に



12月定例会案内チラシ

3月からSNSで、さらに6月からは動画を使った情報発信を開始しました。視察なども多くなりました。

チラシ制作は片山委員長が行ってきましたが、今回の12月定例会ではじめて川原副委員長を中心とするチームで制作し、持続可能な取り組みの一步を踏み出しました。

見どころや他の議員からのひと言も掲載し、読み手である町民の共感が傍聴の促進につながるよう工夫しました。



2022 持続可能な取り組みを目指して



議会のうごき

2022年 2023年
10月15日 ▶ 1月13日

会議の開催状況

臨時会	2回
議員協議会	4回
議会運営委員会	1回
各常任委員会	12回

Twitterで
活動報告を
行っています



【欠席状況】

経済福祉 4臨 (10/25)	姥
議員協議会 (11/22)	斉藤
経済福祉 (11/30)	日下
広報広聴 (12/27)	大石
広報広聴 (1/11)	川原

経済福祉常任委員会→経済福祉のように略しています

「道北の可能性」「地域防災」講演を聞きました

上川管内町村議員研修会

10/26



旭川市で開催された研修会について
斉藤議員によるレポートです。



藻谷 浩介氏

道北はコロナ禍を
チャンスにできるか

(株)日本総合研究所調査部 主席研究員
藻谷 浩介氏

強烈な講演だった。傍聴の私たちに「寝るな！」「手をちゃんと上げろ、上げない人には当てるぞ」本当に当てられていた…
日本人が思う世界と現実

との間にズレが生じているのでは、と自ら日本中、世界中を飛び回った経験をもとに持論を展開していた。
道北地区は農業・観光・国内売り上げが伸びている林業と、社会を安定させる要素が詰まっているのだと言っ。私たちができることは何か考えさせられた。



定池 祐季氏

北海道の防災教育、被災者支援の充実に向けて

東北大学災害科学国際研究所 助教
定池 祐季氏

胆振東部地震の厚真町災害ケースマネジメントなどを例に、行政依存ではない住民自治が形成されることの重要性や、住民に合わせた制度や仕組みの大切さを説明されました。
地震と聞くだけで怖がる子どもへの心のケアの難しさや、災害時に適切な行動を取るための防災教育の重要性など、実例をもとに説得力のあるお話をされていました。

脱炭素のためにできることを考える

脱炭素地域社会の実現に向けた政策形成研修会

11/30



鷹栖地区住民センターらつとで開催された研修会に議員も参加しました。
まず、草野竹史氏と豊岡和美氏によるオンラインでの講演がありました。
その後のグループディスカッションでは、冬の暮らして脱炭素のために何ができるか話し合いました。身近な課題が多く出て、盛り上がりしました。
脱炭素を「自分事」として考えるきっかけとなる研修会でした。

視察受け入れ状況

○広報広聴の取り組みについての視察を受けました。

- 10/17 福岡県篠栗町議会運営委員会
- 10/19 鹿児島県南さつま市議会 産業厚生委員会
- 10/27 沼田町議会広報特別委員会
栃木県那須塩原市議会会派
- 10/31 愛媛県西予市議会会派
- 11/1 栗山町議会
鹿児島県垂水市議会運営委員会
- 11/8 福島県鏡石町議会会派
- 11/9 秋田県羽後町議会

○新規就農の取り組みについての視察を受けました。

- 10/17 剣淵町議会

VOICE

議会報モニターをはじめとする皆さまの声をご紹介します。

議会だよりを読んだり、傍聴したりしていると、議会は町に対して敵対視しているようにしか見えない。

鷹栖町をよくしたいという想いは町行政も議会も同じですが、その方法について議論することは必要だと考えています。議会としてのチェック機能を果たせるよう取り組みを進めます。

行政側の参加者名が分からない。職員の顔と名前がわかった方がよいのでは。

興味を持ってもらうことにつながるのであれば、行政側の参加者名がわかるような工夫を検討します。

ガイドブックを見る時間が足りません。

一般質問の時には関連する記載があることなど、優先してご覧いただきたいページの案内をするようにしたいと考えています。

今回は足元が寒かった。コロナ対策もあるが工夫を！

感染対策をし、ひざ掛けを貸し出しできるよう工夫します。

今回もさまざまなお意見をお寄せいただき、ありがとうございます！

今後も多くのご意見をお待ちしています。



表紙

はたちのつどい

56人が参加

今回の

1月8日、たかすメロディーホールで鷹栖町はたちのつどいが行われ、56人が参加しました。

式典では中学校の恩師からのメッセージやピアノ演奏がありました。

式終了後にはビンゴ大会が行われ、景品をめぐって盛り上がりました。

本紙20ページのわたしの一言には式の実行委員長の小笠原さんに寄稿いただいていますので、併せてお読みください。



景品をめぐってあっちむいてほいで決着をつける場面もありました

日曜日に一般質問

傍聴者の皆さんも通信簿で議会に参加

3月定例会は日曜議会として開催予定です。一般質問では通信簿をつけていただく取り組みも行います。多くの方の傍聴をお待ちしています。

3月定例会は 3月5日(日)～9日(木)

- 日程は変更になる場合があります。
- 傍聴受付票への記名をお願いします(コロナ対策)。
- 詳細は議会事務局にお問い合わせください。

《クイズ応募方法》2ページのクイズの答え・住所・氏名・年齢を記載し、郵送、FAX、Eメール、または回答フォームからご応募ください。①よかった記事 ②こうしたらもっとよくなるというアドバイスもいただければ幸いです。

《あて先》「議会事務局 宛」住所などは裏表紙に記載

《しめきり》令和5年2月28日(火) 消印有効

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。

前回のクイズの答え

問1 維持 問2 リノベーション 問3 安定

人との出会いが夢につながる

(はたちのつどい代表者あいさつより抜粋)

現在私は、大学の仲間と学業に励んでいます。

高校生の頃は「とりあえず大学に行こう」という浅はかな気持ちでしたが、土木に熱意があり、魅力的な話をしてくれた先輩の影響で、私も将来は建物や道路を建設し地図に残すという、達成感を味わえるような仕事をしたいと考えるようになりました。

多くの人との出会いや関わりが、将来の夢につながると思います。そして逆に自分自身が人の人生に影響を与えることもあります。自分を信頼する力が大切です。自分ができることを、自信をもって行動すれば、多くの人の支えになれると信じています。

夢や目標がある人はそれに向かって全力で頑張ってください。また、これから見つけようとしている人もこの先の出会いを大切に、焦らず探していって欲しいと思います。

これからは社会を担い、次世代を支え、未来へ繋いでいけるように。社会の一員として、感謝の心を持つことを忘れずに、大人の自覚と責任ある行動をしていきましょう。



将来の夢に向かって
大学で土木を専攻中

小笠原 幸男さん はたちのつどい
実行委員長



はたちのつどいのビンゴ大会では司会も務め、
会場を盛り上げていました

わたしの一言



鷹栖町に縁のある方に日頃の思いなどを
自由に書いてもらうコーナーです。



子供もスキーを
始めました

瀬尾 太樹さん (8区町内会)



2001年にカナダで行われた国際スキー連盟
の大会で優勝

子供達に青春を。

青春は過ぎ去った後に気付くもの。だから子供達にはこれが青春！と思う間もなく楽しめる環境作りを私達大人がやっていかなきゃならないと僕は思います。

そんな中最近では、スポーツ人口が減り、少年団の継続が厳しいとの話をよく耳にします。きっと私の頃とは違い、子供に対しての教育が効率的になり、無駄を省いた教育観念を持った大人が増えてきたのかと私個人は思いました。

少年時代スポーツに励んだ私は、全国にいる多くの仲間たちと今も繋がり助け合っています。今になって挫折も栄光と思える日々も、仲間と話していると青春を感じることができます。無駄な事は一つもなく、やりたい事をサポートしてくれる大人がいました。

最近よく耳にする「今の若い子は」という言葉は、現代の大人がルールを引きすぎた結果なんだと思います。子供達の青春作りを邪魔しない！そのために私は息子を、そっとサポートしたいです。



寄稿していただける方はぜひご連絡ください！

